

マウイの報告です。 Aloha Charity Japan



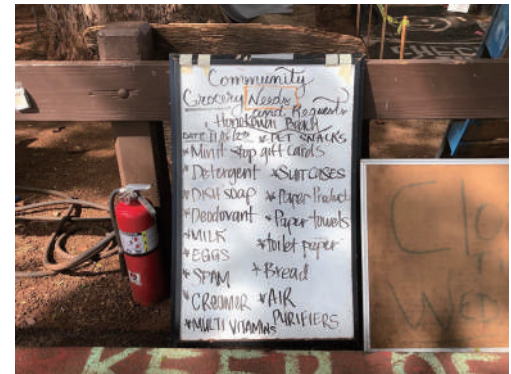
皆様の多大なるご支援により 2023年9月-11月のマウイ島での炊き出しが無事成功致しました。被災者みなさまの心に寄り添う活動が出来た事心より感謝申し上げます。

アロハチャリティ 代表 川畑泰弘

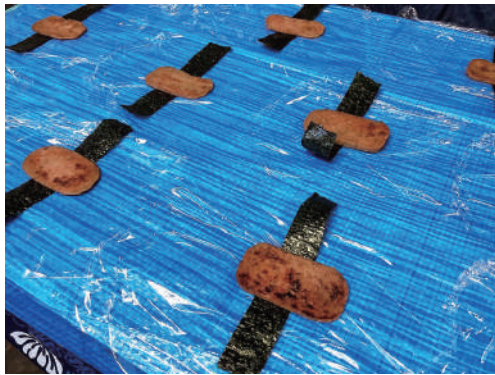
2024年11月19日~20日



2023年11月20日~22日



2023年11月22日



2023年11月23日~24日



2023年11月20日~22日



2023年9月と11月炊き出しのご支援グループ様



ワイアロハフラスタジオ 玉置先生とみなさん



ナニレフア武田先生とみなさん



プアリノ福田先生



右から二人目 松本さん、右 橋下先生



クウレイナニ・ポリネシアンカルチャースクール



神戸ハワイ会のみなさん



石垣市長とメケアロハプメハナ内間先生



左から4人目しらとまこさんとみなさん



あじ彩 浦崎社長、三つ星タクシー砂川さん



アロヒ石川さん



ハナリケ実行委員会のみなさん



大草原ハワイアンフェスティバル実行委員会のみなさん

マウイ島での物資支援と炊き出しの会 ご報告

9月と11月、マウイ島での支援活動についてご報告致します。

ご支援を頂きましたスポンサーのみなさま、お手伝い頂いたチームのみなさま、キッチンを貸してくれた友人、子供たちへギフトカードを届けて下さるみなさま、心より感謝申し上げます。

おかげさまで事故もなく、無事成功できました事を重ねて御礼申し上げます。

◇集まったご支援金

1回目385,500円+100ドル

2回目に集まったご支援金

958,860円+2,150ドル

◇支援内容

ペーパータオル12束、トイレトペーパー6束、ミネラルウォーター20ケース、紙食器3000枚、食料品40ケース
\$20ドルのギフトカード150枚

◇炊き出し、その他

スパむすび500個、おにぎり150個、ピザ240個

機材、賃料、道具、食材、車、備品など

※飛行機代と宿代は自己負担

◇ご支援者様(1回目と2回目)

Pua Hawaii Yamagishi Tomoko様 100,000円

タナカヒロコ様 50,000円

サカモトユキ様 5,000円

シミズマユミ様 3,000円

匿名 80,000円

匿名 1,000円

匿名 2,000円

Ryan Chuck様、Noriko様 100ドル

シラトマコ様 30,000円

匿名 10,000円

オグラジュンコ様 3,000円

オカダヤスヨ様、チエ様 10,000円

石川智子様 15,000円

クウレイナニ・ポリネシアンカルチャースクール様 100ドル

クウレイナニ橋本様 200ドル

オオハタヨシエ様 10,000円

匿名 10,000円

ヒサエ フク Hernandez 100ドル

ソガベマコト様、マリナ様 3,000円

NPO法人マハロシップ様 30,000円

フラスタジオ ナニレフア タケダアキコ様 107,000円

Hawaiian Fresh Roast様 Hydro Flasks 24本+マウイ島への送料24ドル

あじ彩石垣島 浦崎 肇様 30,000円

三つ星タクシー 砂川竹子様 10,000円

ハワイアンレイ Pua lino 福田みどり様 20,000円

八重山防衛協会 山森 陽平様 日本国旗100本

神戸ハワイ会 長野裕子様 250,000円
ワイアロハフラススタジオ 玉置ゆかり様 130,000円
ナラニ・レイラニ フラスクール 一枝様・智枝様 800ドル
設楽洋子様 200ドル
Keiko Miyama様 200ドル(2回目)
RIE MATSUMOTO様 200ドル
ハワイ出雲大社 天野宮司様 200ドル
宮坂じゅん様 100ドル
シラトマコ様 80,000円(2回目)
大草原ハワイアンフェスティバル実行委員会様 46,255円
九州ハナリケ実行委員会様 168,500円
石川智子様 5,000円(2回目)

◇お手伝い

Webサイト カワグチタカシ様

翻訳 カールトン様

炊き出し ヤマギシトモコ様

炊き出し シラトマコ様

現地 アキコ様

現地 アケミ様

現地 カオリ様

現地 ピッピ様

アロハギフト 250,000円

ハワイアンパームス 250,000円

石垣島イベント出店の利益90,000円

みなさまのご支援を心から感謝申し上げます。

ありがとうございます。

次回もよろしくお願い致します。

◇ラハイナ周辺の状況

1) 支援所は段々数が減り、Honokowai Beach Parkの支援所もまもなく終了。

機材などはKaanapali支援所へ移動しているようです。

2) ホテルへ避難されてる方々は部屋を出なければならぬ時期となり、仮設住宅もごく一部だけで全く不足、家探しは困難で、仕事を失った方は家賃や生活の負担が大きく、大変厳しい状況です。

3) Lahainaの焼けた跡地では整地が進み建設中の仮設住宅がチラホラ見えます。かなりペースが遅く感じました。日本なら数日後には建設が始まります。

4) 賃貸物件1部屋に100件以上の応募があるそうです。友人が厚意で家の一部屋を提供されたそうですが、日に何十件も問い合わせが入るようです。

5) マウイ郡やハワイ州の被災者へのケアが行き届いていないように感じます。たくさんの寄付を受け付けているはずですが、どのように使っているのか調べる必要がありそうです。

6) 日本企業が仮設住宅の建設許可をマウイ郡へ申請した所、却下されたそうです。

7) Honokowaiの地域は特に子供が多く、今後も開催のご要望がありました。

次回は支援所としてではなく、自前の仮設テントを張って実施しようかと考えています。

引き続きご支援のほどよろしくお願い致します。

Aloha Charity Japan

代表 川畑 泰弘